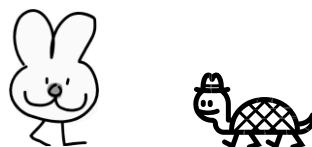


我ら 50 期 ここにあり

うさぎとかめの法則



うさぎが負けて、かめが勝った。勝敗はスタートする前から決まっていた。「相手を見ていたうさぎ」 v s 「自分が決めた目標を見ていたかめ」見ているところの違いが勝敗を決めた。あなたは今どこを見ていますか？

この話には続きがあった。

小学 1 年生の女の子が先生に言った。「なぜかめはうさぎを起こさなかったの？」「1 人でゴールするより、2 人でゴールする方が楽しいのに。」子どもに教えられた。共に勝つという勝ち方があるということを・・・。

例え遅くても、目標に向かって少しずつ近づいていったかめ。相手を見て油断し、途中で休憩したために追い抜かされたうさぎ。起こしてあげなかったかめ。この 2 匹の行動から学ぶことは多い。ここはさらに向上心を持って、うさぎのように才能や能力があって、かめのようにコツコツ努力するような「かめうさぎ」を目指してもらいたい。できなくてもいい、遅くてもいい、ではなくて、できる人は“ビューン”とぶっ飛ばしてワープしてほしい。それでいて、そっと起こしてあげてください。



「その気」になるということ

『その気』になればきっとできる。させるのではないし、させられるのではない。賞（物をもらう）と罰（ペナルティーをさせられる）と恐怖（脅される）のように人は外からの刺激によって動かされる。しかし、動かされて動くには限界がある。自分で動かなければならない。自分はできるという自信と、できそうだという自分のようすや位置を知っていることと、みんなと仲間と一緒に頑張れるという 3 つの要素によって人間は『その気』になれる。何かのきっかけで自分が動き出したとき、自分改革と快進撃の始まりとなるでしょう。それが進路懇談きっかけの今や！